

# 本のぽけっと

5・6年生に  
おすすめする本

市川市立図書館

## 青空トランペット

吉野方理子／作 宮尾和孝／絵 学研プラス

ぼくはベ이스ターズファンの六年生。  
いつも父さん、妹の奈々、友だちの健太郎、  
トモちんの五人でプロ野球の観戦に行く。  
ところが、健太郎は中学受験のために観戦を引退  
する、と言い出した。健太郎は、応援する人では  
なく、応援される人になる、というのだ。

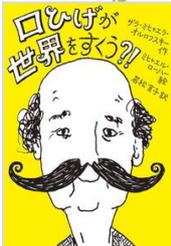
視力が弱い奈々を助けることを使命と  
思っていたぼくは、応援する人のままで  
いいのか。たとえ相手に届かなくても、  
応援せずにいられない！いつか  
あこがれのトランペットで、選手に  
気持ちを届けるんだ。



## 口ひげが世界をすくう?!

ザラ・ミハエラ・オルロフスキー／作  
ミハエル・ローハー／絵 若松宣子／訳  
岩波書店

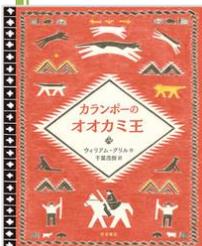
ヨーヨーのおじいちゃんは、おばあちゃんが  
なくなってから、元気がありません。ところが  
ある日、おじいちゃんは「世界ひげ大会」に  
でると決めました。そこで優勝するためには、  
まずひげをのばすこと。ヨーヨーは、  
おじいちゃんのひげをいちばんにする  
さくせんをたてました。そしてひげの  
手入れをてつだい、アシスタントとして  
いっしょに大会に行くことになったのです。



## カランポーのオオカミ王

ウィリアム・グリル／作 千葉茂樹／訳  
岩波書店

1893年ごろ、北アメリカ西部カランポーで、  
“ロボ”と名づけられたオオカミがむれを引き  
連れ家畜をおそい、人びとに恐怖をあたえて  
いた。博物学者で、名ハンターでもあった  
シートンは、何度も失敗したのち、ようやく  
ロボをとらえた。そして『ロボ：カランポーの  
オオカミ王』（『オオカミ王ロボ』という題名  
でも知られる）という物語を書き  
あげた。しかし、このことを  
きっかけにシートンは、  
オオカミと自然環境の保護に  
身をささげることになる。



## あぐり☆サイエンスクラブ

春 まさかの田んぼクラブ!?

堀米薫／作 黒須高嶺／絵 新日本出版社

ある日、五年生の学は、「あぐり☆サイエンス  
クラブ員募集！野外活動をしながら科学を体験  
しよう！」と書かれたちらしを拾う。なんだか  
おもしろそうだと思い、すぐにそのクラブに入会  
した。けれども美人のあぐり先生に、同級生の雄成、  
奈々といっしょに連れて行かれたのは、田んぼ。  
そして、お米の苗を育てるところから田植えまでが  
その活動だった。“田んぼはまさに  
サイエンス（科学）。”はたして米作りは  
うまいくのだろうか。

「あぐり☆サイエンスクラブ」の  
シリーズはほかに2さつあります。



## ペーパープレーン

スティーブ・ワーランド／作 いのうえさと 井上里／訳  
こみねしよてん 小峰書店

十二歳さいのディランは、オーストラリアでパパと二人ぐらし。ママがなくなってから、パパは仕事にいけなくなっていた。そんなある日、学校でディランの紙ひこうきは長距離を飛び、紙ひこうきジュニア選手権大会に出場することになった。このことで友だちになったケビンや、おじいちゃん、少しずつ元気になってきたパパの協力きょうりょくで州大会、全国大会と勝ち進む。そしてディランは世界大会が行われる日本に一人で旅立った。



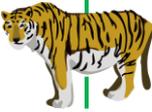
## 世界を救うパンの缶詰

すく かんづめ  
 菅聖子／文 やましたこうへい／絵  
 ほるぷ出版

栃木県とちぎけんにある「パン・アキモト」のパン職人しよくにんの秋元あきもとさんは、阪神大震災の被災者ひさいしゃの声をもとに、3年間保存可能な「パンの缶詰」を開発しました。開発中は缶がさびるなど、何度もトラブルが起こり、くじけそうになりました。しかし秋元さんはあきらめることなくついに一年半たって完成かんせいしました。今では賞味期限が切れる一年前に缶詰を回収かいしゅうし、海外の飢餓地域へ送る「救缶鳥」プロジェクトの活動も行い、多くの人の命を救っています。



## タイガー・ボーイ

ミタリ・パーキンス／作   
 ジェイミー・ホーガン／絵 ながせひな 永瀬比奈／訳  
すずきしゅつぱん 鈴木出版

ニールの住むインドの島の保護区からトラの子が逃げ出した！

金持ちのグプタはトラの子さがしに報奨金を出した。つかまえて、ブラックマーケットで売るつもりなのだ。ニールは、州都コルカタの学校で学ぶための奨学金を勝ち取るため、今は勉強をがんばらなければならない。でもトラの子を守りたい。ニールは、姉さんと2人でグプタより先にトラの子を見つけようと決心する。



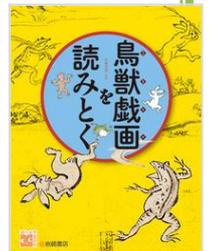
## 鳥獣戯画を読みとく

ちようじゆうぎ が よ  
ごみふみひこ 五味文彦／監修 いわきしよてん 岩崎書店

「鳥獣」とは身近な動物のこと。「戯画」はおもしろおかしくかいた絵という意味です。

『鳥獣戯画』にはうさぎやかえるたちが川遊びやあてをしている様子が、ユーモアたっぷりに生き生きとかがれています。約八百年前にかかれたものですが、現在と変わらないおかしさがあります。

また、これは作者もわからないなぞの多い絵巻物で、文章もありません。絵をみながら、自分だけのストーリーを考えてみませんか。



ここで紹介している本は市川市の図書館でかりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

